

全国一般神奈川

発行者
 全国一般労働組合全国協議会神奈川
 横浜市中区翁町1-5-14
 新見翁ビル4F
 TEL. FAX.
 045-319-4391

11・22 財務省・厚労省交渉へ 介護崩壊 STOP！ 対政府実行委員会の直接交渉に参加



全国の介護職員・関係者・当事者のネットワークである「介護崩壊STOP！」対政府交渉実行委による財務省・厚労省交渉が今年も行われ、神奈川から4名が参加した。また社民党の福島瑞穂議員を紹介議員として、大橋裕子議員、れいわ新選組の大石晃子議員・八幡愛議員、立憲民主党の尾辻かな子議員が参加された。

要求内容は、①訪問介護報酬減社会的影響についての説明。②介護労働者の低賃金を生み出す介護報酬決定の仕組みへの見解、改善策。③介護労働者不足への改善策。④パワハラ・セクハラや不当労働行為など労働者の権利を侵害する事業者への指導・監督強化。⑤65歳「介護保険優先」とする取り扱いは是正、「生活介護」の報酬改定など、障害者福祉の切り捨てを



おこなわないこと。精神病院改革を後退させないこと。

まずは、訪問介護への報酬削減について、今回の報酬削減により訪問介護倒産が過去最大となり、報酬改善を早急にしなければ倒産が増えること。訪問介護事業所からは、「有料老人ホームへの訪問介護事業所は黒字だが、車や自転車で一軒ずつ訪問し、利用者に報酬外となったとしても必要なサービスを行うような中小介護事業所はほとんどが赤字で倒産の危機になっていること」を強く訴えた。

また、介護労働者の低賃金や人手不足の問題については、厚労省も財務省も「介護職員への処遇改善を行っている」との一点張り。「処遇改善だけでは事業所が潰れる、報酬を上げなくては！」とたくさんの声があがった。

山紀会のような不当労働行為を

やめない事業所に対しては、指導や監督の強化、厳罰化を求めた。また、山紀会支部より3800名の署名を提出した。

障害福祉サービスを利用する障害者が65歳になった時点で「介護保険優先」とする取り扱いが未だに行われていること。厚労省は、65歳になっても引き続き必要な支援を受け続けられるように各自治体へ事務連絡を出すようにすると約束した。また障害者が利用する生活介護の報酬改定によって、1日単位から利用時間に応じて1時間単位になったことにより、利用者によっては、時間制限ができたことで通所が困難となるケースがあること、事業者自身も経営が困難となり事務が煩雑になっていると意見があがった。

精神病院内のプライバシーと人権擁護については、近年、認知症のある人が精神病院へ入院させられるケースが増えている実態が報告され、未だに拘束や虐待など痛ましい事件が続いていることへの早急な是正、怒りの声があがった。

現在、介護保険、障害者福祉への必要な予算が使われないため、「ふつうの暮らし」が崩壊している。制度をつくる官僚たちの机上の空論の机をぶち壊して、現場の声で制度を作り変えるしかない！みんなで立場を超えて団結がんばろう！！

交渉後は、大阪・東京の仲間と交流会があり、神奈川の仲間も参加し色々お話ができて解散となった。

(野中)

スケジュール

●12月11日 20時 事務所・LINE 神奈川合同支部会議

●12月12日 15時30分 本社 ビステオン情宣行動(その後会議)

●12月13日 18時30分 旭区 鯉住宅団体会渉

●12月14日 18時 事務所 横浜市労働者組合定期大会

●12月15日 10時 事務所 機関紙発送作業

●12月15日 14時 寿公園 寿労働相談

●12月16日 15時 事務所 横浜交通開発会議

●12月16日 19時 事務所 第3回担当者会議

●12月18日 10時30分 県労委 テクノエープ県労委第9回調査

●12月19日 12時 新百合ヶ丘 らぼおるの樹会議

●12月20日 18時30分 天王洲アイル JAL本社前行動

●12月21日 16時 横浜 県央地区忘年会

●12月22日 14時 事務所 第3回支部代表者会議・忘年会

●12月23日 19時 事務所 神奈川労働相談センター会議(勉強会)

●12月25日 17時30分 横浜西口 JAL横浜西口情宣行動

●12月25日 19時 生活館3階 寿第51次越冬突入集会

●12月26日 19時 事務所 県共闘事務局会議

物価高騰を超える賃上げへ!方針確認

12・7第34回県共闘大会

組合は、12月7日神奈川労働プラザ会議室で開催された、県共闘第34回定期大会に参加した。大会は、代議員、来賓、傍聴者など27名が集まり、組合からは代議員1名と傍聴者数名が参加、大会議長に八木さんが任命された。開会挨拶は吉良副議長が立ち、「故川端議長のことを引き継ぎ、県共闘運動を盛り上げ、25年度の闘う方針を」と挨拶。その後来賓挨拶があり、14年の長き闘いとなるJAL争議団、県の神奈川労働センター、お忙しい中駆けつけて頂いた渡邊全労協議長から連帯の挨拶をいただいた。



大会は、24活動報告、24財政報告、労働相談センター財政報告、そして25年度活動方針、予算、役員体制、スローガンが可決。そして大会宣言が採択された。また争議報告支援要請では、闘い真つ最中のテクノウエイブ原告の清水さんとビステオンの宮崎さんから闘い報告と支援要請を行った。式次第最後の小内事務局長の閉会あいさつで、「県共闘は旗じまいはありませぬ。JAL争議支援第51次寿越冬と年末始も闘いは続きます是非ともご支援を」と挨拶。団結カンパニーで大会は終了した。2025年度も共に頑張りましょう。(佐藤)

寿越冬闘争に参加しよう!

第51次 寿越冬闘争スケジュール 2024~2025

第51次寿越冬闘争実行委員会 (12月6日現在版)
(2024年12月26日~2025年1月7日)

寿越冬闘争統一オリエンテーション...2024年12月15日(日) 午後2時30分~【寿生活館2階】
統一作業日...2024年12月21日(土) 午前9時~ 【寿公園集合】
第51次寿越冬闘争突入集会...2024年12月25日(水) 午後7時~8時【寿生活館3階】

日付	主な行事 *会場は【寿公園】(横浜市中区寿町3-9-4)です。
準備	21日~27日 厨房作り・テント設営(9時~)
12/27 (金)	準備作業(9時~) 年末年始対策窓口同行(9時30分~)[交流センター・中区役所]
12/28 (土)	準備作業(9時~) 臨時相談窓口同行(9時30分~)【寿福祉プラザ】
12/29 (日)	準備作業(9時~) バトスブ作り(切り込み:14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
12/30 (月)	炊き出し(切り込み:9時~、配食:14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
12/31 (火)	炊き出し(切り込み:9時~、配食:14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/1 (水)	炊き出し(切り込み:9時~、配食:13時~) 芝居:さすらい姉妹(14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/2 (木)	炊き出し(切り込み:9時~、配食:14時~) カラオケ大会(13時~)[寿生活館4階] 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/3 (金)	炊き出し(切り込み:9時~、配食:14時~) 学習会「故・矢島祥子さんを偲んで」(11時30分~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/4 (土)	炊き出し(食料配布:14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/5 (日)	炊き出し(食料配布:14時~) 各種相談(医療・法律・生活・労働) 集約会議(17時~) パトロール(20時~)
1/6 (月)	中福祉集団生活保護申請(8時~)
片付	6日・7日 厨房・テント解体(9時~)

*若干の変更の可能性があります。ご了承下さい。

年末年始で役所が閉まっていて、一人の犠牲者も出さないための寿越冬闘争が取り組まれます。みんなで助け合い乗り切りましょう。県共闘では、仲間と労フェ労働相談を行います。可能な方は、短い時間帯でも結構ですので、是非協力をお願いします!

県共闘恒例ボウリング大会に参加



県共闘恒例のボウリング大会が、11月16日横浜・伊勢佐木町のヤングボウルで開催されました。参加者8名は、事前にボールを選び、シューズに履き替え準備完了。19時20分に大会はスタートしました。参加者は、久々の投球

にヘッドピンを捕らえる事ができず四苦八苦する中、たまた一人小内さん(かろう神奈川)は、第一ゲームで遺棄を過ぎたとは思えないフォームでストライクを連発し、ハイスコア279ポイントをたたき出し、優勝しました。第2位は沢口さん(全国一般神奈川)、第3位は河野さん(全国一般神奈川)、プービー賞は三輪さん(全国一般神奈川)が獲得しました。ボウリング終了後成績発表と交流を深めるために台湾酒家に移動し和やかに、楽しいひと時を過ごしました。参加者は来年こそはと心に秘めボウリング大会は終了しました。(佐藤)

各支部定期大会の報告

多摩川病院支部

自主連帯多摩川病院労組の第28回定期大会を11月8日開催しました。大会には、沢口委員長、河野さんご夫婦を迎え、光盛委員長がお気に入りだった武蔵新城の「いつちよまえ」で懇親会兼ねての開催となりました。

光盛委員長が去年組合を辞められ、田舎の愛媛・宇和島へ帰られたので今後どうするか、沢口さん、河野さんに助けられた一年で、河野さんが大会を終えた後、2、3日後に光盛さんが帰られた宇和島を訪ね、遊びに行くとの事でした。それを横で聞いていた沢口さんも、「俺も行きたいんだけど」とうらやましそうにしていました。そのお土産話はまた聞いていませんが楽しみです。(田中)

生活クラブ生協支部

11月19日、当支部は、新横浜オルタナティブ37回定期大会を開催しました。(不参加の組合員11名参加)

組合員数が一気に増加した10年ほど前から生協による組合敵視の姿勢が強まりました。その後、人事異動をめぐり労働員会への不当労働の申し立てやあつせん係の経緯を経た現在の労使関係は、生協側の交渉委員が代わったこともあり、組合攻撃的な言動はいったん収まっています。また、組合員が複数人数勤務している職場が増え、職場での課題・トラブル組合への相談加入という流れが一定程度定着したことが、毎年の加入につながってきました。

いわゆる「八がけ社会」による働き手不足によって特にエッセシャルワーカーの労働環境のさらなる過酷化が危惧されます。社会運動体として持続可能な社会の実現を地域に発信している生協も例外ではありません。人員不足を口実にした労働負荷の増大を阻止し、剰余を人件費に充当せず内部留保を進めようとしている生協に対して、連帯して交渉力を高めていくこととともに、職場を超えて地域の仲間の権利、生活を守る全国一般神奈川の運動に参加していくための新たな一年にしていきます。(八木)

しかし一方ではMBO人事評価制度が導入されて以来、ベースアップゼロの状況が続いている状況に対し